

AOYAMA GAKUIN

2021

JUNIOR HIGH SCHOOL

青山学院中等部





青山学院教育方針

The Educational Policy of Aoyama Gakuin

青山学院の教育は キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き 真理を謙虚に追求し 愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。





青山学院中等部 部長
敷 島 洋 一

中学受験を考える君たちへ

これから中学生生活を迎える子どもたちはどんな世界を生きるのか。

シンギュラリティが予測される2045年、君たちは40歳にもなっていないのです。

人工知能の進化により大きく変わる世界、変革を遂げる社会です。

そんな時代に人と協力してグローバルに活躍する人を育てたい。

それが青山学院中等部の強い願いです。しかしそのためにどうすればいいのか。

青山学院中等部は校舎を変えることからスタートしました。新校舎は全体が生きた学びの空間です。

校舎は教科ごとにゾーンを持ち、教科ごとのメディアスペースがあります。

これを教科センター方式といいます。生徒たちは授業ごとに移動をします。

メディアスペースには知性、感性を刺激する展示がたくさん並んでいます。

その教科の魅力と面白さがよくわかるはずです。壁には生徒たちの作品や発表が掲示されています。

2年生や3年生の作品が掲示されていれば1年生はこれから先、

自分たちが何を学ぶのか見通しもつきます。鉄は熱いうちに打てといいます。

中学生は面白いことに夢中になる時期です。

学びたいという意欲こそが君たちを大きく成長させます。ぜひ校舎を見学に来てください。

足を踏み入れば青山学院中等部がどんなにドキドキワクワクする学校かがわかります。





SCHOOL LIFE



一人ひとりの個性や違いを善いものとして互いを認め
人を大切にする心と生きていく力を育みます



Time Schedule

	月・火・水・金	木
予 鈴	8：10	
S H R	8：15～8：20	
1 時 限	8：25～9：10	
2 時 限	9：20～10：05	
礼 拝	10：15～10：30	
3 時 限	10：40～11：25	
4 時 限	11：35～12：20	
昼 休 み		
5 時 限	1：15～2：00	1：05～1：50
6 時 限	2：10～2：55	2：00～2：45
7 時 限 (L H R)		2：55～3：40
S H R	3：00～3：10	

最終下校時刻

4月~9月 5:30 10月~11月15日 5:00
11月16日~1月 4:30 2月~3月 5:00

※テスト1週間前から30分繰り上がります





キリスト教信仰にもとづく人格教育を重視し
競争ではなく協力し合う精神を培います





Subjects

幅広い視野を持った人間としての基礎力をつけます

幅広い視野をもった人間としての基礎力をつけ、自分の使命を知り、
隣人と共に生きるための助走として基礎学力の充実を図ります。

Bible Class

聖書 キリスト教の立場で人生を問う

本校では、道徳・倫理・宗教の授業を総称して聖書科と呼んでいます。
建学の精神と、この学院で学ぶ意味を、
自分の生き方と結びつけて学ぶことを目的としています。

English

英語 国際化時代のコミュニケーションの道具として

国際語である英語を学ぶことを通じて、
普遍的なものを追い求める心を養い、広く世界全体に目を向けて、
国や文化の違いを超えて、社会に貢献できる人を育てます。



Mathematics

数学 思考力を養い、深める

数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、
事象を数学的・論理的に考察し、自ら問題を解決する能力を育てます。

Japanese

国語 生身の言葉で相互理解を深める

聞くこと、話すこと、読むこと、書くことを
有機的に機能させ、ことばと心を豊かにし深く考える力を養います。

Science

理科 科学を学び、自然を理解する

理科は科学の基礎です。実験・観察を重視し、自然に対する深い理解と関心を育てます。
科学的な見方、考え方を育成することで自然と関わる態度を育成し、
人間及び社会に対し、科学の責任を考えます。



個性と主体性を伸ばし知的好奇心を満たします

主体的な学びを促す教科センター方式の導入は
一人ひとりの学習意欲を高め、自己実現を支える一助となっています。

Social Studies

社会 多面的視野で世界を見る

社会の各分野の基礎的知識を学び、関心を深めます。
一人の市民として多面的・多角的な視野を持って考え、社会の課題を発見し、
主体的に解決するための力を養います。

Music

音楽 豊かな感情を育てる

音楽によって表現することと、豊かな響きを聞くことによって、
感動する心を育て、心を成長させます。基礎的な理論を知り、
音楽の仕組みを理解することによって音楽への関心を深め感性を育んでいきます。



Subjects

美術 素材との触れ合いを通して人生を問う

Art

自然の素材に触れながら感じる力、物を造り出す力を育てることで自己表現を肯定し、自分を発見して確立する、という作業を、美術を通して取り組んでいきます。

保健・体育 社会に生きる人間を形成する

Physical Education / Health

さまざまな運動種目の実践により運動技術、技能を身につけ、体力向上を図ります。
さらに、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培います。

技術家庭 生きる基本を学ぶ

Home Sciences / Technology

生活に必要な衣食住にかかわる生涯生活に欠かすことが出来ない教科です。
プログラミングなどの情報分野に力を入れながら、ものづくりの大切さも指導し、
基礎的な知識と技術の習得を通じて、生活に対する実践的な態度を培います。



チャットルーム

国際交流の一環として、海外の大学協定校からの交換留学生たちとの異文化交流が開催されています。自由な雰囲気の中でランチをとりながら様々な話題で盛り上がります。

ゆとりある環境と自由な雰囲気の中で
学び続ける力を育てます



メディアセンター

「知のハブ」として、各教科のメディアスペースと連携しながら、学びを深める一翼を担っています。



カブトムシ/東の庭

本校舎の6階の東西南北それぞれの方角にあるオープンスペースでは、それぞれの環境に応じた動植物の飼育をしています。

SPACE



スタディルーム

放課後に大学生がスタディルームに常駐して勉強をサポートします。

中等部を卒業した先輩が多く参加しているので、中等部での勉強の仕方など活きたアドバイスが得られます。

仲間同士で課題を見つけて探求し、深く広く学び合い

表現力を育てると同時にいろいろな価値観に触れて認め合う心を育てます。

感性に訴える空間は学び続ける力を促します。



与えられた才能を探し、可能性を伸ばすユニークな発展的学習で資質の向上を図ります

3年生が履修する週2時間の選択授業は、従来の科目にとられないユニークなものも多く、生徒個人の特性等に応じた学習を通じて関心あるものを深めていくことができます。

国語 俳句

季節感ある言葉(季語)をたくさん知って、俳句を作り、句会をします。外に出て俳句を作ることを「吟行」と言いますが、日帰り小旅行や一泊吟行会にも行きたいと思います。(以前は狭山新茶摘吟行、御嶽・奥多摩一泊吟行、鎌倉・江ノ島吟行を実施しました)

NHK 俳句 キラリ俳句賞
シチュー食ひ
メガネくもれば
クリスマス



普段の授業では扱えない時間や根気、テクニックを要する実験を学期毎に分野を変えてチャレンジします。化学分野では水溶液の分析の基礎、香料の合成、英文の実験書にも挑戦します。生物分野では進化の過程を身近な食材の解剖を通じて学びます。物理では水ロケット、火薬ロケットを作成し、力学を学習します。また、上記実験とは別に、それぞれがテーマを決めて実験・観察を行い発表します。

社会 ソーシャルイノベーション入門

現代社会の課題について学び、中学3年生ならではの発想と知恵で解決策を考えることを目指す講座です。多様な意見・立場を理解し新しい視点や方法を持って協働できる力を養います。各自関心のあるトピックの調べ学習を行うと同時に株式学習プログラムを通じた意思決定や模擬国連などに取り組み、情報を分析し話し合って結論を導く過程を体験します。また、校外学習や外部の専門家による特別授業の機会を設けています。



Learn about English by singing and studying famous Disney songs. We will learn about the special language used in songs, the history and the context of those movies. And of course you will do lots of singings, too!

数学 暗号入門

暗号史に沿って古典から現代までの暗号とその数理を紹介します。1学期～2学期前半は紀元前から第二次世界大戦までの暗号。2学期後半～3学期は現代の公開鍵暗号。いくつかの数の理論がどのように関係しあって暗号を作り上げるのか紹介します。暗号の作成や解読も行いますが、メインは数学です。時間に余裕があればフェルマーの最終定理または3次方程式の解の公式なども紹介します。2学期から少々講義が難しくなります。



選択授業体育「スポーツ発見!」では、勝ち負けや、成功不成功だけではないスポーツの楽しみ方を追求します。外国語や料理を学ぶように、人と人とをつなぐコミュニケーションツールとしてのスポーツについて学んでいきます。



理科 理科実験



ヨーロッパの絵画では、油絵が主流となる前は「テンペラ画」で描かれていました。「テンペラ」とは「混ぜ合わせる」という意味で、数多くの名画もこの絵画技法で描かれています。この講座では卵の黄身を使って描く「エッグ・テンペラ」をベースにその上に油彩を重ねる技法に取り組みます。中世の雰囲気を感じながら、1枚の名画の模写を1年かけてじっくりと取り組み、その額縁と共に仕上げます。

美術 テンペラと油彩



英語 The Language of Songs with Disney



みなさん、アンニョンハセヨ！
韓国語の世界ようこそ！
韓国語の簡単な書き、読み、文法を学び、韓国語で自分の意思を簡単に表現できることを目指します。
ドラマや音楽を楽しんだり、流行のK-POPを歌ったり、韓国料理実習と伝統衣装試着、交流会など、異文化体験が手頃に経験できる参加型の授業です。

韓国のことば 韓国のことばと文化



体育 スポーツ発見



「聴く」「話す」を中心に据えて中国語の発音を基礎から学びながら同時に文化や習慣を紹介し、中華街散策や調理実習等も入れながら「中国」を総合的に学びます。さらに座学と並行し、企業との連携で認知言語学を応用したe-ラーニングを導入します。全国の中高で初の試み。実際に1/2～1/3の学習時間で高い効果が出ています。国際人としての一歩をぜひこの授業で！

中国語紹介



本気で一緒に頑張った仲間は生涯の友になります

豊かな環境の中で思い切り打ち込める課外活動が充実しています。

教科、学年に関係なく同好者が集まって活動し、心と身体、個性を伸ばします。

クラブ活動加入率は100%。クラブによっては中等部卒業生が指導してくれます。



SPORTS





運動クラブ：剣道部 サッカー部 女子テニス部 女子バスケットボール部 バレーボール部 水泳部 卓球部 男子テニス部
男子バスケットボール部 チアダンス部 バドミントン部 ハンドボール部 野球部 ラグビー部 陸上部
同好会：柔道同好会 スキー同好会



好きなことに打ち込み、夢中になると
その先には夢と可能性が広がります



文系クラブ：アートクラブ 演劇部 科学部 家庭部 茶道部 箏曲部 創作漫画部 吹奏楽部 ハンドベル部 放送部 マイコン部
同好会：囲碁将棋同好会 オルガン同好会 音楽同好会 国際交流同好会 ハイキング同好会 文芸同好会 緑信会 旅行同好会 歴史研究同好会





CULTURE



SCHOOL CALENDAR 2020

学習の一環として学校行事に参加し、それぞれが責任を持って目的に沿うよう努力し行動することで自主性が高まります

4月



入学式
1年オリエンテーション
奉仕活動
イースター礼拝

5月

母の日・家族への感謝の日礼拝
1年情報モラル講演会
1年天城キャンプ
2年裏磐梯キャンプ
3年沖縄旅行



6月



3年歌舞伎教室
授業参観

10月



運動会
中間テスト

11月



中等部祭
クリスマス・ツリー点火祭

12月

期末テスト
クリスマス礼拝



国際人を育む多彩な グローバルプログラムが充実

それぞれの国の文化や歴史、
考え方や生活習慣などを
より深く知ることによって日本への認識も深まります。
グローバルな視点から自分を知ること、
国際人としての人間力が育まれます。

オーストラリア・ホームステイ

毎年、夏休みに14日間、ブリスベン郊外で行います。
ホームステイ先の子供が通う中学校 Immanuel Lutheran College(ILC校)と一緒に登校して、午前中は主に英語の
レッスン、午後は授業へ参加します。その他にもアボリジニ・
アートの体験など数々の体験学習を行います。





7月

期末テスト
緑蔭キャンプ
夏期クラブ合宿



8月



オーストラリア・
ホームステイ・プログラム

9月

奉仕活動



1月

国際交流講演会
(偶数年度)
宗教講演会
(奇数年度)
伝道週間



2月

音楽鑑賞会



3月

学友会送別会
スキー学校
卒業式
フィリピン訪問(奇数年度)
韓国訪問(偶数年度)
学年末テスト



フィリピン訪問プログラム

隔年、春休みに実施します。フィリピン訪問はチャイルド・ファンド・ジャパンを通して中等部が支援しているチャイルドを訪問するプログラムです。いくつかの学校も訪問します。フィリピンの生徒との交流を通して、相互に理解を深めるという目的で行われます。



韓国・学校訪問プログラム

韓国訪問では梨花女子大学附属中学校と交流を図ります。ソウル近郊の史跡を見学し、相互理解を深めます。異国に触れ、学ぶことが出来る貴重な体験プログラムです。新宿にある東京韓国学校とも毎年交流会をひらき、隔年でお互いの学校を訪問しています。



卒業生からのメッセージ



好きなことに

夢中になれる環境があります



現在、私は宇宙物理学・天文学研究者として EHT プロジェクトに参加しています。2019年4月ブラックホールの撮影に成功。今後は更に画像の精密度を上げると共に、ブラックホールやその近くで何が起きているのかを解明し、ブラックホールが宇宙で果たす役割について研究していく予定です。

これらの活動の原点は、全て中等部時代に培われたと言って過言ではありません。

中等部には、受験勉強や競争などに縛られず、自分の好きなことに夢中になれる環境がありました。

当時、私は時間があれば学校の図書館（現：メディアセンター）で物理、科学系の本を読んでいました。その中の、ブルーバックスの『物理のABC』という本を読んで物理に興味を持ったことが、物理学者を目指すきっかけでした。入学すると「図書ノート」というノートを頂くのですが、最後のページはスペースが足りなくなって、小さな文字で書籍名だけを書いた覚えがあります。当時、先生から「もっと他のジャンルの本も読んでみましょう」とコメントを頂くほど、科学、物理系の本ばかり読んでいたのです。

科学部に所属し、数多くの実験を仲間と工夫しながら行ったこと。また、ハイキング同好会を友人らと立ち上げて尾瀬横断歩行を実行したり、フィッシング部でも活動するなど、学校行事だけに留まらず、自然観察の機会が非常に多かったことも今の仕事につながっています。

やりたいことができる自由な環境があり、自主的活動を先生方が全力でサポートしてくれる、アットホームな環境の中で過ごした中等部時代の数々の経験こそが、今の私の礎となっています。

秋山和徳さん

宇宙物理学・天文学研究者

マサチューセッツ工科大学ヘイスタック観測所勤務

1987年 東京生まれ

青山学院初等部、中等部、高等部卒業

2010年 学士号（理学）、北海道大学 理学部 物理学科卒業

2015年 博士号（理学）、東京大学大学院 理学系研究科 天文学専攻
東京大学総長賞受賞

2015年より現職

2019年 日本天文学会研究奨励賞受賞

進路を決めた貴重な時間

大学2年 男子

中等部は、チャンスに溢れた学校です。2年生の春休みに行った韓国梨花女子大学附属中学校との交流プログラムでは、現地の生徒と関係性を築く中で、英語という国際的に必要なツールの重要性を強く実感し、僕が高等部でアメリカへの留学を決断したきっかけにもなりました。僕にとって中等部での3年間は、自由な校風の中、素晴らしい先生や仲間・友人と出会い、互いに切磋琢磨し、さらに、これからの進路を自分で決めた貴重な時間でした。卒業した今でも、中等部の先生や友人との強い繋がりは続いており、それはまさしく青学ならではの伝統で、僕の生涯の宝物です。あなたも是非、このチャンス溢れる中等部で、自分の方向性を見定める経験をしてみてください。

将来につながった異文化体験

高校2年 女子

中等部での行事はどれも楽しい思い出ですが、特に2年生の夏に参加した2週間のオーストラリアホームステイプログラムはとても貴重な経験になりました。実際に現地の学校に通い、ホストファミリーと生活する事で多くの異文化体験をしました。「モーニングティー」と言う朝食と昼食の間、午前10時頃に小さな食事を取る習慣。家の前に川があり日常的に家族でカヤックを楽しんだりする等日本では経験出来ない事を体験しとても楽しかったです。今でもそのホストファミリーとクリスマスカードを交換しています。この経験がより国際交流に興味をもつきっかけとなり、現在の英語学習のモチベーションとなっています。中等部での様々な経験は将来につながる大切な忘れられないものとなりました。



『自分』を見つけるチャンス

充実した中等部祭

高校2年 男子

中等部生活の様々な思い出の中で印象的なのは、中等部祭です。クラス毎に何をするか完全に自由なので、どのクラスも前々から構想を練ってより良いものを作ろうとします。例年脱出ゲーム、お化け屋敷や縁日を中心に各クラス独自の面白い企画で盛り上がります。当日が面白いのはもちろん、事前の準備もとても充実しています。準備完了時刻間際まで時計を見ながらの駆け込み的なクラス全員での取り組みは、ひとつの目標に向かう集中力と一体感を味わうことができ、とても楽しかったです。毎年自分のクラスが一番頑張っていると思って作業していましたが、いざ当日になってみると他のクラスのクオリティーに圧倒されていました。1、2年生と賞には届きませんでしたが、だからこそ3年生で賞をいただいた時の達成感は格別でした。中等部でのこのような経験は、生涯忘れないような大切なものとなりました。

真剣に向き合ってくれた先生

大学2年 女子

何度も失敗し、何度も挑戦した中等部時代。女子バレーボール部、学友会（生徒会）。この2つが思い出の大部分を占めています。どちらも大切なのはチームワーク。失敗を周囲のせいにして腹を立てた日もあれば、自分の責任の重さに押し潰されそうな日もありました。そんな不安定な日々の中で、いつもどっしりと真剣に向き合ってくれた「先生」。「叱ってくれる人がいること」「受け止めてくれる人がいること」の幸せを学びました。だからこそ、目の前の一瞬一瞬、人、出会いに、心から向き合い、感謝することができました。まっすぐに向きあってくれたからこそ、挑み続けることができた。素直に懸命に、何かと向き合う楽しさ。それができる環境にある幸せが中等部にはあります。そしてその経験が今の私をかたちづくっています。Let's enjoy the school life in Aoyama Gakuin Junior High School !



1年生の秋に、第1回女子ラグビーユース強化選手募集の知らせを先輩から聞き、応募した時から私のラグビー生活がスタートしました。

2年生になり、男子ばかりの中等部ラグビー部に入部できたものの、度重なる怪我とリハビリに追われ、存分にプレーできなかった中等部時代でした。

怪我と長期リハビリを通して、スポーツ医学について身を以て学ぶことができたこと、最先端のスポーツ医学をオーストラリアで学ぶことができることを知り、ラグビーが盛んなオーストラリアへの夢がどんどん膨らんでいきました。

高校2年の時、ラグビーがしたくて、オーストラリアの高校に行ったのですが、英語が全くできなかった私がすぐに馴染めたのも、そして今、文化や人種、国籍、年齢を超えてチームの中でプレーできるのも、感謝と優しさの気持ちを忘れず、相手の個性を認め尊び、興味を持つことで積極的に関わられたからだと思います。

2年生の時に学友会役員になり、上級生や下級生と交わったこと、他校との交流会で沢山の人に会う機会が多かったこと、特に副会長として中等部祭を企画運営した経験は、今のラグビーにおいてもリーダーシップを取り、信頼を築き、チームで団結を高める上で非常に役立っています。

現在、ブリスベンに近いイプスウィッチ州立高校で日本語、体育を教えながら、ラグビーコーチとしてもみなさんと同じ年代の生徒を教えています。その中で度々思うことは、自分探しの重要性です。新しいことにチャレンジすることによって得られる、その自分を探してみてください。青山学院中等部には、そういったチャレンジできるチャンスが沢山あります。みなさんには是非楽しんで欲しいです！

小野麻子さん

ラグビー女子オーストラリア代表スコッド

- 1990年 東京生まれ
青山学院初等部、中等部卒業
- 2014年 オーストラリアクィーンズランド大学 スポーツサイエンス学科卒業
- 2015年 三菱重工相模原ダイナポアーズ
国内初の女性リハビリ・ストレングス&コンディショニング・コーチとして就任
- 2016年 ベルマーレ世田谷所属
- 2018年 オーストラリア女子ラグビースーパー W クィーンズランドレッズ 所属
イプスウィッチ州立高校 教師兼コーチ
- 2019年 ラグビー女子オーストラリア代表「ワラルーズ」スコッド選出
ポジション：スクラムハーフ

知的好奇心を刺激する次世代型の学習へ

2017年に完成した本校舎は、フロアごとに各教科の特徴を生かした専用ゾーンがあります。

専用教室、教科の発表やグループ作業のためのメディアスペースと先生が待機する教科準備室、

それぞれが隣接し、教科の魅力をしっかり伝えることができるようになっています。

与えられた課題に、生徒たちは最新のICT設備を活用しながら個人はもちろん

グループで思考力を深める学習を行っています。

生徒たちが授業の移動の合間に触れる各教科ゾーンは、

作品や資料、展示物や研究レポートなどが掲示され、知識を詰め込む授業に終わらない、

興味や知的好奇心を刺激する「問い続ける学びの場」として機能し、主体的な学びを促しています。

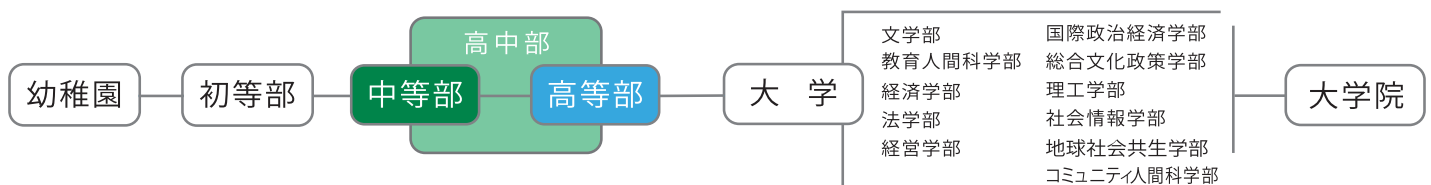


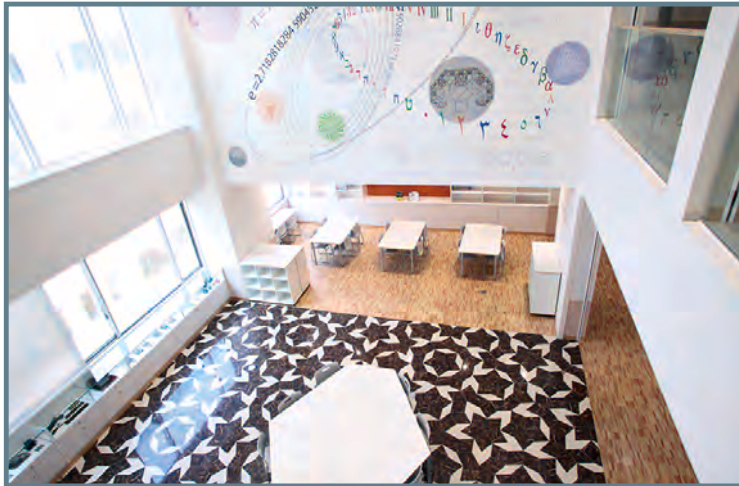
制服

季節に応じて上着を着用しなくてもよい時期があり、指定のセーター、ベストでの登校も許可しています。
女子のスカートは、ひだのあるものであれば色柄自由です。

青山学院の軌跡

青山学院の源流は、明治初期にアメリカから来日した3人の宣教師が開校した「女子小学校」「耕教学舎」「美會神学校」の3校から成り、今年で創立146年を迎えます。1947年(昭和22年)年、第二次世界大戦後の教育改革の中で、中等部は新しい男女共学の中学校として開設されました。その後、1986(昭和61年)年4月、一貫性の強化を図るため中高を一本化し「青山学院中等部」となって、キリスト教信仰に基づく一貫教育を行なっています。





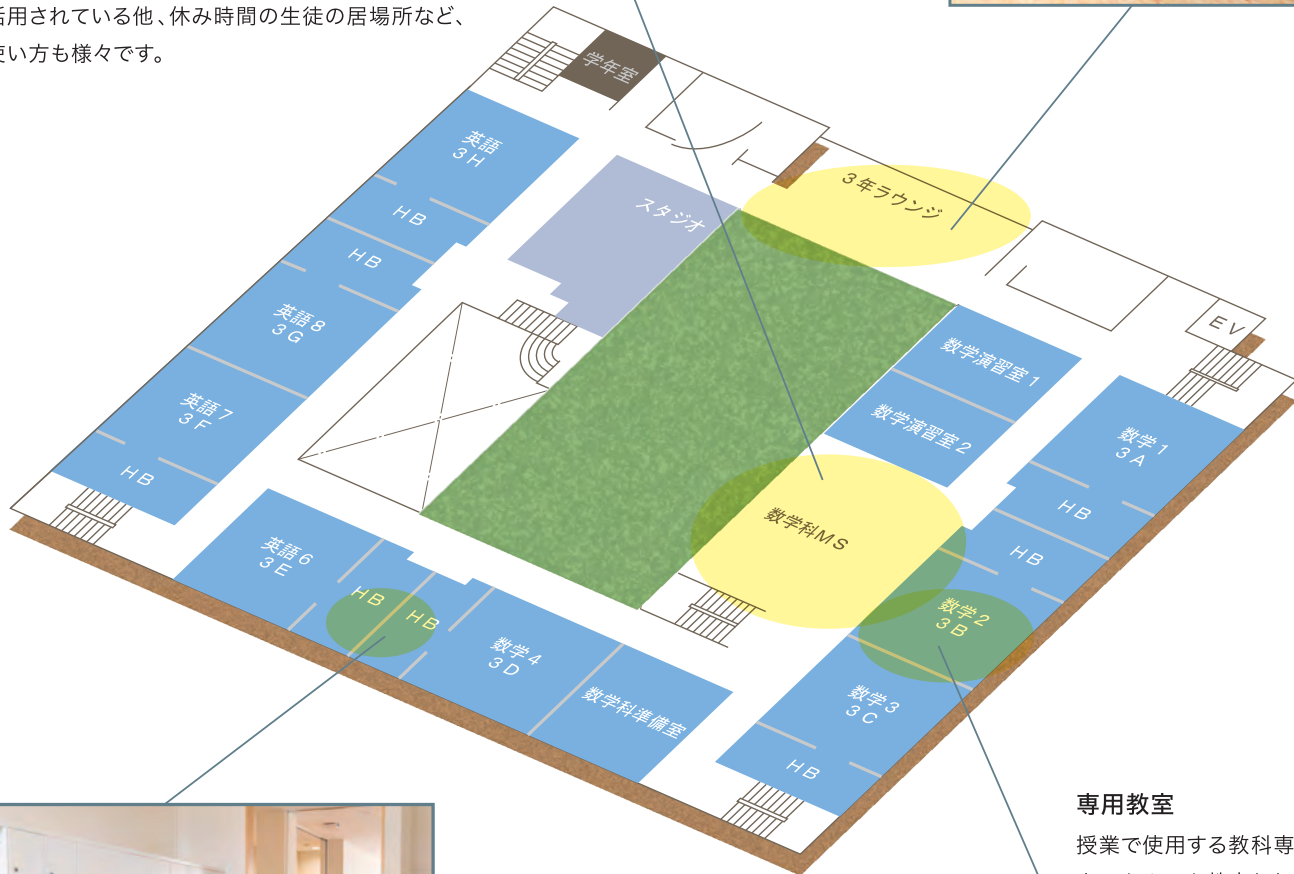
学年ラウンジ

各フロアに設けられている学年ラウンジ。
学年で自由に使えるスペースです。
放課後はスタディールームが行われます。



メディアスペース (MS)

教科ごと、各フロアに設けられた「メディアスペース」と呼ばれるオープンスペース。
プレゼンテーションや協働学習の場としても活用されている他、休み時間の生徒の居場所など、使い方も様々です。



ホーム・ベース (HB)

個人用ロッカー等があるクラスの生活拠点となります。

専用教室

授業で使用する教科専用教室で
ホームルーム教室とも兼用します。



高等部インフォメーション

卒業後の進路



青山学院中部を卒業する生徒の95%以上は青山学院高等部へ進学しています。高等部のホームルーム数は10クラスで、高等部からの入学生と混合になります。高等部卒業生の80%以上は、青山学院大学へ進学しています。

高大連携

同じ敷地内に大学のほとんどの学部があるという恵まれた環境を活かし、「高等部生徒による大学授業の履修」「学問入門講座」など大学との連携を深めています。最先端の研究施設にふれたり、早くから大学の専門分野に特化した学問に接することで、各自の興味・関心を明確にし、学習意欲の向上をはかっています。



高等部学問入門講座

総合的な学習の時間の一環として、土曜日に青山学院大学・専門職大学院の教員による学問入門講座が年10回、約30講座開講されます。生徒は、学問の面白さや奥深さを知る機会となっています。

高等部制服



【男子】 冬期は濃紺のブレザーとズボン。ワイシャツ等は白または薄い色。ネクタイは色・柄・着用ともに自由。

夏期は濃紺のズボンに白ワイシャツ・ポロシャツ等。

【女子】 冬期は濃紺のブレザー。スカートまたは指定の濃紺ズボン。スカートはひだつきの繊維製品で色は自由。ブラウスは白または薄い単色。靴下は、白または紺。

夏期は、ひだ付き濃紺無地のスカートまたはズボンと白ブラウス・ポロシャツ等

【略装】 略装として所定のスクールセーター・ベスト着用可。

国際交流



英国・ケンブリッジの名門パブリックスクールであるリーススクール。イタリア・ミラノにある国立レニャーニ高校の2校と姉妹校提携を結び、数名の生徒による短期交換留学を行っています。また、学院のプログラムでもあるフィリピン訪問プログラムなどを通して、生徒たちが豊かな国際性と価値観の多様性を身につけることができるよう期待しています。



中等部インフォメーション

入試結果

2020年度	男子	女子	合計
志願者	519	619	1,138
受験者	396	489	885
合格者	119	90	209
実質倍率	3.3	5.4	-
補欠者	10	10	20
合格最低点	178	200	

2021年度入学試験日程

【募集人員】

定員 男女合わせて約140名

【願書受付】

・インターネット出願

2021年1月10日(日)～29日(金) 予定

※日程が確定しましたら、HPにて公表いたします。

【試験日】

2021年2月2日(火) 8:45～12:20

【試験科目・時間】

4科目

国語 100点 50分

算数 100点 50分

社会 50点 25分

理科 50点 25分

【合格発表】

2月3日(水) 10:00 HP及び中等部校舎

※HP上でも公表予定ですが、必ず掲示でご確認ください。

【入学手続】

2月3日(水) 10:30～15:00 (予定)

※詳細はHPをご確認下さい。

教育課程表(授業時間表)

	1年	2年	3年
国語	4	4	4
社会	4	4	3
数学	4	4	4
理科	3	4	4
英語	5	6	6
音楽	2	1	1
美術	2	1	1
保健体育	3	3	3
技術家庭	2	2	1
聖書	1	1	1
特活	1	1	1
選択	0	0	2
合計	31	31	31

学校説明会

【日時】《予約制》

第1回 2020年6月20日(土)

第2回 2020年9月19日(土)

第3回 2020年9月19日(土)

第4回 2020年10月3日(土)

第5回 2020年10月3日(土)

※開始時間はHPをご覧ください。

【内容】(予定：以下は昨年度の実施内容です)

- 1、中等部の教育について
- 2、聖歌隊合唱
- 3、学校生活について
- 4、新校舎について
- 5、ハンドベル演奏
- 6、入試に関する説明・連絡
- 7、校舎見学及び入学相談(希望者)

【場所】

未定 ※詳細はHPをご覧ください。

中等部祭(文化祭)

11月7日(土) 10:30～16:00

11月8日(日) 12:30～16:00

(予約不要 上履き不要)

※開始時間はHPをご覧ください。



青山学院スクールモットー

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

（マタイによる福音書 第5章13～16節）



青山学院中等部

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

TEL 03-3407-7463

www.jh.aoyama.ed.jp

